

平成20年 4月10日

新宿区長

法人名 特定非営利法人東京山の手まごころサービス
 所在地 新宿区高田馬場 1-32-7 信ビル 301号
 (フリガナ) (コニシ ノブヒコ)
 代表者氏名 代表理事 小西 伸彦 ㊞

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	ふれあい・いきいきサロン まごころ「こめこめ倶楽部」
実施日時又は期間	平成19年6月4日から平成20年3月25日まで（10ヶ月）
対象者の範囲及び人数	新宿区内に居住する高齢者・障害者、特に閉じこもりがちな単身高齢者を主要対象とし、そこに幼少年を含む一般区民も加われるように工夫した。延べ参加人員数 約500名
事業内容	楽しく、気楽に、無理なく参加でき、仲間づくりや生きがい感が味わえる参加型の事業を継続的に行う。
具体的な活動状況	① 新茶を楽しむ会（6月4日） ⑨ふれあいフェスタ（10月21日） ② 和菓子づくり（6月21日） ⑩菊見の会（11月14日） ③ 絵手紙と茶話会（7月12日） ⑪クリスマス会（12月17日） ④ 納涼手品お楽しみ（7月25日） ⑫日本舞踊と邦楽会（1月17日） ⑤ 健康フラダンス（8月27日） ⑬お汁粉の会（2月7日） ⑥ ADL 高齢者体操（9月7日） ⑭落語と手品を楽しむ（2月12日） ⑦ 音楽療法を楽しむ（9月21日） ⑮手打ちうどんづくり（3月7日） ⑧ 戸塚福祉見本市（10月14日） ⑯出前講座（3月25日）
事業の成果	高齢者、障害者が「自分が、自分のままでいられる場所、自分も人も自然のままに交われる居場所づくり」を目指して平成18年から取り組んだ結果、2年間の活動が実を結びつつあり、笑顔と笑いが生まれる場を提供でき、閉じこもりや孤立高齢者の外出機会が増え、家族からの喜びの声が伝わってきた。 さらに、この活動を通じ、地域包括センター、新宿区社会福祉協議会、戸塚地区地域福祉会議、民生委員との協働が深められた。

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
	団体負担金			578,935 円
	参加費・資料代等	参加費（300 円×156 人）		46,800 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額 500,000 円		
	計	1,125,735 円		
支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳	費 目	決算額	内 訳	
	会議費	107,451 円	大久保地区センター多目的室（午後使用）4,000 円×3 回＝12,000 円 同上（会議室 1,800 円×2 回、調理室 1,200 円×1 回）＝4,800 円 戸山社会教育会館ホール 1,750 円×1 回＝1,750 円 会議用資料代 3,419.27 円×26 回＝88,901 円	
	宣伝費 （注：東京山の手まごころサービス共通で制作した物につき、当該事業割合が 1/3 であることから 30%を負担した）	341,686 円	「まごころだより」作成費 21,924 円×8 回×0.3＝52,618 円（30%分担分） ホームページ作成費 11,670 円×9 回＝105,030 円 パンフレット作成費 798 円×500 部×0.3＝119,700 円（30%分担分） カレンダー作成費 315 円×150 部×0.3＝14,175 円（30%分担分） チラシ作成費 22,774 円×150 枚×7 回＝23,913 円 パンフ・ちらし専用封筒作成費 26.25 円×1,000 枚＝26,250 円	
	リース費	9,000 円	信ビル 2 階会議室使用料 1,500 円×6 回＝9,000 円	
	消耗品費	50,557 円	トナー購入代 14,816 円・ラベル用紙代 11,847 円・コピー用紙代 3,181 円 ゴミ処理代@1,044 円×15 回＝15,660 円・文具代 5,053 円	
	謝礼	177,000 円	講師謝礼 20,000 円×3 人+10,000 円×6 人+7,000 円×1 人+5,000 円×10 人＝177,000 円	
	人件費	62,500 円	世話人謝金 2,500 円×17 人+2,000 円×10 人＝62,500 円	
	材料費	38,770 円	絵手紙（絵手紙セット・教材 3,346 円+郵便代 4,000 円+素材 6,800 円） その他茶話会等茶菓代 171 円×24 人×6 回＝24,624 円	
	交通費	115,780 円	都内交通費@669.249×173 人＝115,780 円	
	その他諸経費 （保険 30%負担の根拠は、宣伝費と同じ）	117,900 円	活動保険（損害賠償 129,000 円+傷害 147,000 円）×30%＝82,800 円 郵便代（80 円×350 枚+50 円×90 枚）＝32,500 円 宅配便（1,000 円+1,600 円）＝2,600 円	
	助成対象事業費（小計）	1,020,644 円		
	余 剰 金	0 円		
	助 成 対 象 外 事 業 費	105,091 円	会議費 7,461 円 リース費 39,000 円 謝金・人件費 21,000 円 材料費 15,930 円 交通費 16,320 円 備品費 5,380 円	
	事 業 総 額		1,125,735 円	

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	平成 18 年からの 2 年間の活動成果が実を結びつつあり、課題である①気楽に行けて誰でもが集える場、②自分が自分でいられる場、③人と触れ合える場、④笑顔と笑いが生まれる場を提供でき、当初の計画は達成することができた。(15 回開催・300 名参加予定が、16 回開催・500 名参加)
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	① 主な地域効果 ・軽度の独居高齢者の外出機会が増加・デイサービスからの集団利用が実現・歩行困難者の参加が増加・リピート参加者の増加などの効果があった。 ② 今後見込まれる効果 ・ 3 月に実現した戸山団地集会室での「出前講座」は、予想以上に好評で、次年度以降毎月 2 回の開催が決まった。これにより、地域密着での「独居高齢者居場所づくり」(孤独死防止)効果が期待できる。 ・ 公的介護保険制度にあてはまらない高齢者の介護予防に、「こめこめ倶楽部」の効用がさらに期待できる。
新たに気づいた課題は何か。	① 居場所づくり」のキーワードは「協働」であり、パートナーは「行政」、「社協」、「自治会」、「商店街」のほか「早稲田大学」もあることに気づいた。 ② 介護保険だけでは高齢者の暮らしは支えられない。足りない部分は、行政と住民がお金と知恵と汗を出し合い補っていく、すなわち、NPO 法人をはじめ地域住民が担う仕組みをつくる必要がある。 NPO 法人としての「まごころサービス」の新宿区での 20 年の経験と知恵が「居場所づくり」に今後も生かされることを期待する。
理解者や支援者が広がったか。	2 年目を迎えた「まごころこめこめ倶楽部」の活動が地域住民に認知されると同時に、地域包括支援センター、新宿区社会福祉協議会、戸塚地区地域福祉会議、民生委員および早稲田大学の理解と支援が得られたことが 2 年間の大きな収穫であった。
事務局の執行体制は十分だったか。	昨年度より、事務局内に「まごころこめこめ倶楽部」の事業部門を設け、代表、副代表を中心に、プログラム作成、広報、会計、スケジュール管理を世話人会 8 名で担当し、参加者のニーズに応じてきた。但し、ヘルパー(105 名)の協力度については、本業多忙により十分とはいえなかった。

今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	「まごころこめこめ倶楽部」の活動は２年経過したが、介護保険制度のみでは満たされない高齢者の孤独感、疎外された人間関係の希薄の改善が如何に重要かが浮き彫りとなった。 今、新宿区の高齢者問題で、戸山団地を含む独居高齢者への対応が重要課題である。 まごころサービスは、新宿区の協力を得ながら、戸山団地集会室を拠点にした「居場所出前講座」を年間を通じて毎月開催し、閉じこもりと孤独死予防の「ふれあいサロン、こめこめ倶楽部」を開設し、まごころサービスの中堅ヘルパーが交代でボランティアで協力する予定である。
その他	

4 活動の成果

＊事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

＊参加者の意見なども報告してください。

【活動の成果】

- ① ほぼ毎月、できるかぎり同一施設で、バラエティのあるカリキュラム（体操、音楽、ダンス、朗読、語り、お茶会）に基づく気楽に参加できるイベントを行うことにより、リピート参加者が増えてきた。
- ② 福祉車両の利用で、歩行困難な高齢者、障害者が参加しやすくなった。
- ③ 特に、早稲田大学の学生による「落語」では、出演者の熱演に会場が笑いの渦となるとともに、高齢者にとって若い人達との交流の楽しさと効用があらためて痛感させられた。同時に、学生にとっても、地域居住の高齢者との交流は、貴重な経験となった。
- ④ 戸山団地集会場での「出前講座」では、改めて都市在住独居高齢者の居場所づくりの重要性が認識され、地域住民や行政等との協力体制のなかで具体的行動に取り組むことの喫緊性が確信できた。

【参加者の感想・意見】

- ・ こめこめ倶楽部がスタートしてから、外出することが楽しくなりました。
- ・ まごころサービスの便りで知り、何回か参加させて頂きました。企画がいつもいいですね。楽しみにしています。
- ・ 朗読の会では、「一杯の蕎麦」のシーンに涙が出るほど感動しました。
- ・ お茶の会では、2 回目のことでもあり、より深くお茶の内容がわかって、おいしく、楽しくいただきました。
- ・ お茶の会のおわりに、みんなで「ずいずいずっころばし」や「八十八夜」などなつかしい歌をうたって、とても楽しいひとときでした。
- ・ 足が弱くて、つい出掛けるのをためらってしまいましたが、こめこめさんでは送迎サービスもしていただけるしヘルパーさんのお手伝いもいただけるので、安心して参加できます。
- ・ 菊見の会では、お天気にも恵まれ、用意していただいた歌集をみながら秋の歌などで、学生生活に戻ったような気がしました。
- ・ 落語はとても好きで楽しませていただきました。合唱のサークルでもあれば、入りたいです。
- ・ 学生さんをお願いした企画をこれからもやって下さい。若い世代との交流で元気をもらいました。今どきの学生さんの気質がよくわかって、とてもよかったです。
- ・ 落語は好きですが、なかなかナマは見にいけません。ヘルパーさんに勧めていただいて参加しましたが、皆さんがんばってとてもおもしろかったです。
- ・ 落語は、皆さんとてもお上手でびっくりしましたが、お一人とてもお粗末な人がいて、「これで参加費をどうするなんて」と思いました。
- ・ 今後もよい企画とともに、本業の介護派遣の信頼あるグループとしてご発展くださいますように。